



**STANDARD
TOKYO**

2023年4月28日

各位

会社名 HSホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 原田 泰成
(コード 8699 STANDARD)
問合せ先 取締役 松村 恭也
TEL 03-4560-0398(代表)

2023年3月期業績と2022年3月期業績との差異並びに 剰余金の配当に関するお知らせ

2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の業績と前期(2021年4月1日~2022年3月31日)の業績との間に差異が生じました。

また、本日開催の取締役会において、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を、2023年6月28日開催予定の第66回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期の業績と2022年3月期の業績との差異について (連結業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益
2023年3月期の連結業績 (A)	77,698	24,142	25,693	11,372
2022年3月期の連結業績 (B)	61,566	15,993	17,813	6,545
増減額 (C)=(A)-(B)	16,131	8,149	7,880	4,827
増減率 (%)	26.2%	51.0%	44.2%	73.7%

(個別業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期の個別業績 (A)	8,304	7,044	8,273	13,711
2022年3月期の個別業績 (B)	11,911	11,446	12,453	13,149
増減額 (C)=(A)-(B)	△3,606	△4,402	△4,179	561
増減率 (%)	△30.3%	△38.5%	△33.6%	4.3%

2023年3月期の連結業績は、主に、銀行関連事業において増収増益となりました。モンゴル政府が行った景気対策により融資残高が増加した影響で資金運用収益が増加しました。また、期中に預金残高が対前期比では減少傾向にあったことや預金金利が低水準で推移したことから営業費用である資金調達費用が大きく減少し、営業利益・経常利益は大幅な増益となりました。また、特別利益には後述する関係会社株式売却益が計上されております。

個別業績につきましては、主に、連結除外に伴い子会社からの配当金が減少したことから減収減益となりました。なお、特別利益にはエイチ・エス債権回収及び外為どっとコムの関係会社株式売却益が計上されており、当期純利益は増益となりました。

2. 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	10円00銭	未定	10円00銭
配当金総額	312百万円	—	312百万円
効力発生日	2023年6月29日	—	2022年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、業績に対応した利益還元を行うことを基本方針としておりますが、今後の事業展開と経営体質の強化、財務内容の充実を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していく方針であります。

当期の配当につきましては、ロシア・ウクライナ問題に起因する国内外経済の悪化に対する備え、今後の事業展開に備えた財務内容の充実などを総合的に勘案し、1株当たり10円の普通配当（前期は1株当たり普通配当10円）を2023年6月28日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期（2024年3月期）の配当につきましては、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。

以 上